

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学研都市病院病棟増築	階数	地上4F
建設地	京都府相楽郡精華町精華台7丁目4	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条指定地域	平均居住人員	135 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年12月12日
敷地面積	22,434 m <sup>2</sup>	作成者	藤田
建築面積	1,840 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,241 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.2** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 71%

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したもので (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 3

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 人や環境にやさしい設計を行う。		<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 患者さんやスタッフにやさしい設計を行う。	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 使いやすく、維持管理に配慮を行う。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 まちなみに対して配慮を行う。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 環境負荷の少ない建物となるように設計を行う。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 環境にやさしい材料を導入する。既存再利用に配慮する。(リサイクル材の使用、ノンフロン製品使用、不活性ガス)	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地外環境に負荷をかけない設計を行う。(駐車台数確保、騒音・振動規制法の順守)

■CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される